

3年振りの運動会

統括校長 川崎貴志

夏休みが終わり、早一か月が過ぎました。厳しい残暑も去り、朝夕の冷え込みに秋の訪れを感じられるようになってきました。

9月は、いずみ学級の宿泊学習が行われました。3年振りの実施で、宿泊を経験した児童は半分にも満たない状況でしたが、そのブランクを感じさせないほど、子供たちは整然と行動することができ、また、宿でのゆったりとした時間の中で、相手を思いやりながら、関わり合いながら楽しんでいました。わずか一泊の短い時間でしたが、それでもこの宿泊学習の経験から、自分のことは自分でするようになったなどの頼もしい姿も見られています。



さて、10月の“3年振り”は運動会の復活です。この2年間は表現運動の発表を主とした一小ダンスフェスを実施してきましたが、今年はさらに団体競技を加え、紅白で得点を競っていくこととしました。また、児童の係活動も6年生を中心に復活させ、児童も共に作り上げる運動会を目指します。そして、この運動会は、創立150周年、いずみ学級開設60周年を冠とした記念運動会ともなります。コロナの影響に加え、児童数の大幅な増加もあり、以前のような運動会に戻していくことは難しい状況にありますが、制約のある中でも子供たちのもつエネルギーとパワーを存分に発揮できるような運動会にしていきたいと思っています。なお、詳細は本日配布する運動会のお知らせをご覧ください。

※保護者の参観については、この2年間のように各学年入れ替え制、一家庭2名までを予定しています。また、他学年の様子もご覧いただけるように今年はZoomによる配信も予定しています。

10月行事予定

※保護者の方は、学校ホームページの
「保護者・児童」サイトの学校便りをご覧ください。
※その他の方は、学校までお問い合わせください。

※行事予定は感染症状況により変更の可能性があります。本校HPにてご確認ください。

10月の生活指導目標

「すすんで仕事をしよう」

「これをやったら誰かが助かるかも・・・」

「この仕事は誰かをうれしい気持ちにさせるかも・・・」そのような想像ができたとき、そして、相手のことを考え率先して行動できる人が増えたとき、自分だけでなく、みんなの生活が豊かになります。学校では、まず自分の仕事の責任を果たすことを伝えています。子供たちが「やってよかった」と思えるよう、一人ひとりの頑張りや努力を認めていきます。

6年生

8月24日から1泊2日で日光移動教室に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2年間宿泊行事が中止になっていたの、子供たちにとっては初めての宿泊行事となりました。

雨予報の中の出発となった1日目は、ハイキングコースを変更し、日光三名瀑の竜頭の滝と湯滝を巡ったり、戦場ヶ原から男体山を臨んだりしました。ハイキング後に行った湯元源泉では10円玉をすすんで源泉に浸し、色が変わる様子を楽しみました。残念ながらナイトハイクは中止となりましたが、友達と一緒に過ごす時間は子供たちにとってとても充実した時間となったようでした。

2日目は、華嚴の滝と、日光東照宮を巡りました。華嚴の滝は残念ながら霧が濃く、滝自体を視界にとらえることはできませんでしたが、地鳴りのように響き渡る水の音から、その迫力が十分に伝わってきました。東照宮では、夏休みにそれぞれが作成した東照宮ガイドをもとに、行動班でグループ活動をしながらそれぞれの担当箇所の説明をしました。班長が中心となり、互いに声を掛け合いながらまとまって行動する姿や、時間を守って行動しようとする姿も大変立派でした。

帰りのバスの車内では、「もう1泊したかった。」という声がたくさん聞こえるなど、子供たちにとってとても充実した日光移動教室となったようでした。この日光での二日間で経験したこと、学んだことを今後の学校生活に存分に生かし、卒業までの日々をより一層充実したものにしてほしいと思います。

創立150周年いずみ学級開設60周年記念 令和4年度運動会

10月22日(土)に、創立150周年いずみ学級開設60周年記念運動会が一小の校庭で行われます。新型コロナウイルス感染防止のため、様々な制約がある中で、本番に向けて練習に取り組む姿が見られています。10月3日より運動会特別時間割が始まり、全学年本格的に練習が始まります。子供たち一人一人が達成感を味わいながら、「友達と一緒に頑張る力」や「難しいことに対しても粘り強く取り組む力」など、行事を通して様々な力が育まれていきます。子供たちの精一杯頑張る姿にどうぞ応援よろしく願いいたします。

秋の読書月間

10月25日(火)～11月18日(金)

過ごしやすい気候となり、読書の秋です。休み時間の図書館には、いつもたくさんの子供たちが訪れています。2学期も引き続き感染拡大防止の対策をしつつ、水曜日を除く毎日開館しています。

秋の読書月間では、身近なところにいつも読みかけの本を置いて、ちょっとした時間にも読書できるようにしようと呼びかけます。本を読むことで日頃の不安や悩みが少しでも軽くなったり、日常にはない世界が広がったりしてくれたりと思います。

図書委員は、おすすめの本がわかる「色おみくじ」を作って、たくさん本に触れる機会を増やそうと張り切って準備しています。また、今学期から図書の貸し出しや返却の一部を図書委員に担ってもらうことにしました。学校司書の川口さんに、読みたい本や調べたい本をより相談しやすくするためです。一人でも多くの子供が、人生をちょっぴり豊かにする本と出会ってくれるよう願っています。

読書は学習の土台です。御家庭でお子さんと一緒に本を開く時間を、ぜひつくってみてください！

